

会議名	第1回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会
開催日時	平成31年3月11日(月曜日)午前9時から10時30分まで
開催場所	港区役所 9階915会議室
委員	(出席者)上杉委員長、坂倉委員、若林委員、星川委員、大久保委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課管理係 鶴田、高野
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 委員長、副委員長の選出 5 議題審議 議題1 公募要項について 議題2 第1次及び第2次審査基準について 6 今後のスケジュールについて 7 閉会
配付資料	[席上配付] 資料1 港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 公募要項(案) 資料4 選考の進め方(審査フロー図) 資料5 第一次審査表(案) 資料6 第二次審査表(案) 資料7 今後のスケジュール 参考資料1 港区立伝統文化交流館条例 参考資料2 公募要項様式集 参考資料3 伝統文化交流館管理運営について 参考資料4 港区立伝統文化交流館(港区指定有形文化財旧協働会館) 管理運営計画(案)
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 (芝浦港南地区総合支所長 挨拶) 2 委員委嘱 (委嘱状の交付)

	<p>3 委員の紹介 (全委員自己紹介)</p> <p>4 委員長、副委員長の選出 互選により上杉委員を委員長に選任。 「港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会設置要綱」に基づき、芝浦港南地区総合支所長を副委員長に選任。</p> <p>5 議題審議 議題1 公募要項について ・事務局から公募要項(案)について説明</p> <p>港区立伝統文化交流館指定管理者公募要項(案)に関して、審議します。 公募要項5ページに、「障害者が作業を行うこととします。」とありますが、福祉作業所での作業と、今回の憩いの間での事業の位置づけは異なると思いますので、違う文言を使用した方がわかりやすいと思います。あと、6 ページ「(2)安全・安心に関する業務」の「エ」で、「震災及び新型インフルエンザが発生した場合を想定し、」とあります。震災と新型インフルエンザに限定されてしまうようにも捉えられるので、他の事態についても想定できるような記載になるとより良いと思います。</p> <p>5ページは、「作業」を「業務」に修正します。6ページは、「港区業務継続計画」について、震災編と新型インフルエンザ編を策定しているため、このような記載にしていたが、「震災等が発生した場合を想定し、」と修正した上で、震災編と新型インフルエンザ編を示すようにします。</p> <p>計画書類の様式についてですが、新しい提案をどんどん取り入れたいということであれば、自由な発想を促すような様式にするとか、細かい項目を合体して、より重要な部分についての提案を求める様式にするなど、議論があった方が良いと思います。</p> <p>1様式1審査項目となっていますので、様式の内容については、このあとの「議題2」の第1次審査の基準に関わることとなります。公募要項は一部修正した上で、決定し、様式については、審査基準の項目を議論する中で修正が必要な部分があれば対応していく、ということでしょうか。</p> <p>様式と審査項目はリンクしてくるので、そのようにするのが良いと思います。 それでは、公募要項を一部修正の上、決定します。</p> <p>議題2 第1次及び第2次審査基準について ・事務局より審査方法、選考基準等について説明</p> <p>それでは、第1次及び第2次審査基準について審議いたします。 様式12で施設の設置目的に沿った施設運営の基本方針、様式13で地域及び施設の特性を生かした事業提供の考え方を書いていただくかたちになっていますが、書き分け方が難しいように思います。例えば、設置目的を捉えた上で、伝統文化交流館自体が地</p>
委員長 委員1	
事務局	
委員2	
委員長	
委員3 委員長	
委員長 委員2	

	<p>域及び社会の中で何を期待されているのか、こんな社会を実現するためにこういう役割を果たしていく、といった施設の使命や目指す姿を、事業者自身の言葉で明確に書いていただいた方が運営を任せられる事業者なのがよく分かると思います。様式をまとめたり、分けたりということですが、「事業運営計画に関する書類」と「管理運営計画に関する書類」について、配点バランスを大事にして組み立てた方がいいと思います。</p>
委員3	<p>内容が重複する可能性がある部分はまとめた方がいいかと思います。</p>
委員1	<p>様式は合体するけれども、採点項目はそのままにしておくこともできますよね。書く方の負担は減る、かつ審査したい項目はそのまま残すことができるかと。</p>
委員2	<p>「交流の間」と、「憩いの間」などの他の部屋の配点が同じで良いのでしょうか。「交流の間」をどのように生かして運営するかというのは提案のポイントだと思います。「交流の間」に関する配点は高めにするとともに、「交流の間」を核とした施設の全体事業計画を提案してください、みたいな項目もあっていいんじゃないかなと思いました。これは基本理念の部分が前提になってくると思うので、様式13に盛り込むかたちにしてはどうでしょうか。「交流の間」をしっかりと提案してほしいなと思います。</p>
委員1	<p>各部屋の事業提案について、何を実施するかだけでなく、それによってどれだけ集客を見込める、など効果の部分も併せて示していただけるようにしたいですね。</p>
事務局	<p>各部屋の事業運営計画について、一律に2倍の配点にしていますが、「交流の間」が本施設の主となる場所ですので、ここを中心にした事業運営を示していただけるよう、基本方針等に盛り込んで、様式13で交流の間を中心にした施設運営を行うための方策を記載していただけるよう文言を修正し、審査基準に反映させます。また、各部屋の事業計画にはその効果も記載するよう追記します。</p>
委員2	<p>「憩いの間」を障害者の働く場にといいことですが、他の活動についての提案は求めないのでしょうか。例えば、障害を持っている人の芸術的パフォーマンスを生かしてこういった事業を行う、などより積極的な提案も可能だと思います。働く場でもあり、活動する場でもあり、気軽に立ち寄れる場でもある、という視点で、提案を促せるようなものがあるといいのかなと思いました。</p>
委員1	<p>様式12に施設の使命や目指す姿を書いていただいた上で、様式13で施設の特性である、交流の間を中心にした全体的な方針や、多様な人の特性をどのように考え、活かしながら運営していくのかを記載できるようにするというのはいかがでしょうか。区民の交流促進を目指す施設において、共生社会、といった言葉が入っているだけでも事業者の提案がより積極的な内容に変わってくるのではと思います。</p>
事務局	<p>施設が果たすべき使命や目指す姿、それを達成するための基本方針について事業者が設置目的をどのように捉えて提案するのか、を様式12で記載していただけるよう文言を修正します。また、様式13には文化財である施設の成り立ちや地域における重要性を理解した上で、交流の間を中心にしてどのように運営していくか、誰もが集え、交流できる施設にするためにどのようなことをしていくのかを記載いただける様式に修正します。</p>
委員1	<p>様式17は地域団体との連携、様式18は区内施設との連携について書いていただくこととなりますが、この2つもなかなか分けて書くのは難しいかなという印象です。</p>
委員4	<p>地域団体との連携と、区内施設の連携については、それぞれ施設全体での話なのか、それとも交流の間の活動に限定したことなののでしょうか。交流の間に限定したことなのであ</p>

事務局	<p>れば、交流の間の事業計画の様式に記載した方がわかりやすくなると思います。</p> <p>町会等の地域団体や区内施設との連携は施設全体でのことです。伝統文化団体との連携は交流の間での活動が主となります。施設全体での連携や協働を記載する様式とし、交流の間限定のことについては、様式14の交流の間の事業計画の中に盛り込んで記載できるよう追加します。</p>
委員1	<p>施設長予定者については、計画書類の様式で「施設長予定者の勤務した実績を記載した書類」がありますが、勤務した施設や役職だけ書かれてもわかりにくい。どんな業務に関わったか、そこでの主な実績等を書いていただけるようにした方が、より評価しやすくなると思います。</p>
事務局 委員4	<p>主な実績や経歴を書いていただけるよう記載欄を追加します。</p> <p>施設長予定者の役割と、その他の職員の役割分担は関連性を持って評価することになると思います。企画系、管理系など、バランスが取れてないといけない。職員体制の様式には、職員配置と役割分担のようなことを記載していただけると良いと思います。</p>
事務局	<p>職員体制の様式に、配置する職員の役割分担を記載いただけるよう文言を追記します。</p>
委員長	<p>それでは、いただいた意見を踏まえて、配点のバランスを見ながら審査表に反映させ、修正するというところでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(了承)</p>
委員長	<p>次に第2次審査表の審査基準についてです。</p>
委員4	<p>④で意欲や積極性を評価することになりますが、これは施設長予定者だけによるものか、事業者全体になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>プレゼンテーションやヒアリングの中で、両方を審査していただくことを想定しています。</p>
委員2	<p>本部の支援体制は必要ですが、大規模施設でもなく、また新たに開設する施設なので、運営においては施設長がより重要になってくると思います。</p>
委員長	<p>他にご意見がなければ、第2次審査表は決定ということでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>(了承)</p>
<p>6 今後のスケジュールについて</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・事務局より今後のスケジュールについての説明 	
<p>7 閉会</p>	

会議名	第2回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和元年6月14日(金曜日)午前9時30分から11時00分まで
開催場所	港区役所 5階511会議室
委員	(出席者)上杉委員長、坂倉委員、若林委員、星川委員、大久保委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課 遠井、鶴田、高野
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 公認会計士からの財務状況等分析結果の報告 3 議題審議 議題1 第一次審査通過事業者の決定について 議題2 第二次審査について ①プレゼンテーションについて ②追加要望資料の有無について 4 今後のスケジュール等について 5 閉会
配付資料	[席上配付] 資料1 財務状況等分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第一次審査集計表 資料4 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)審査表 資料5 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)の方法について 資料6 第1回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 2 公認会計士からの財務状況等分析結果の報告 【財務状況分析(可・不可評価)】 事業者A : 代表団体・構成団体とも可 事業者B : 代表団体・構成団体とも可 事業者C : 可 【資金計画分析(A～E評価)】 事業者A : A 事業者B : A 事業者C : A 以上を報告

<p>委員1 公認会計士 委員長</p>	<p>公益財団法人の場合、株式会社とは会計基準が異なると思いますが、各項目を読み替えて報告書に記載されていると考えて良いですか。</p> <p>そうです。売り上げや資産等、該当する項目に読み替えて記載しています。</p> <p>他になければ、財務状況等分析結果の報告はこれで終了します。</p> <p>(公認会計士退席)</p>
	<p>3 議題審議</p> <p>議題1 第一次審査通過事業者の決定について</p> <p>・事務局から第一次審査集計結果について説明 (事業者A 765点 、 事業者B 793点 、 事業者C 657点)</p>
<p>委員長 委員2</p>	<p>それでは、第一次審査について審議します。各委員から講評をお願いします。</p> <p>事業者Aは、港区の地域特性を把握しており、伝統文化活動団体との連携などの提案も具体的で、全体的に地域に即した実現性の高い提案であると思います。事業者の運営実績やノウハウを生かした内容となっていました。事業者Bについては、大規模な施設の運営実績が十分で信頼性はありますが、今回の施設に特化した提案には感じられませんでした。事業者Cは伝統文化交流館に特化した提案ではなく、地域性に対する配慮があまり感じられませんでした。</p>
<p>委員1</p>	<p>事業者Cは、提案内容に独自性が見られず、期待に沿った内容ではないように思いました。安全対策で、事業者Cのみ防火対策について言及していないなど、気になりました。木造の文化財ですので、事業者A・Bは安全対策や維持管理の面でも配慮された内容であったと思います。また、事業者A・Bはどちらも独自性がありました。事業者Aは各団体との連携がきちんと示されているなど、事業者のネットワークを生かしながら地域に根ざした活動ができる提案となっており、安心感があります。事業者Bは、自社での伝統文化への知見という点において、実績不足に感じましたが、伝統文化の各協会と連携するなど、業界の知見を入れることで実現しようとする思いは読み取れました。</p>
<p>委員4</p>	<p>事業者Bを一番高く評価し、事業者Cを一番低く評価しています。事業者Aに関しては、全般的によく練られていますし、地域性も取り入れられていて良かったと思います。事業者Bは全体的に優れた内容で、事業計画についても、安全対策についても細かいところまでよく考えられていました。事業者Cは、職員体制で、館長を含めて、常勤職員の全員が非正規であり、責任ある体制がとれるのか気になりました。</p>
<p>委員3</p>	<p>事業者A、事業者Bは、共に魅力的でした。事業者Aは、地域性を加味しており、地域にも入り込んで運営をすることができるという強みを感じました。事業者Bは、それに加えて、新しいものを創造しようとする勢いが感じられたため、より評価が高くなりました。事業者Cについては、施設の維持管理に重きが置かれ、展開する事業については少し魅力が乏しいと感じられました。その分、指定管理料が一番低くなっていますが、新たな賑わいを生み出すといった発展性はあまり感じられませんでした。</p>
<p>委員5</p>	<p>事業内容が具体的で、かつ実現性が高いかという観点で評価し、事業者Aと事業者Bの評価が高くなりました。交流の間を活用した提案をみると、事業者Bの方がより充実した事業を展開でき、地域全体の伝統文化活動の発展を期待できました。</p>

委員長	委員の評価に差がある項目が複数ありますが、それぞれどのような観点から点数を付けたのか、説明をお願いします。
委員1	事業者Cについては、障害者団体への委託料が安すぎるように感じたためと、職員全員が非正規雇用であるため、低い点数とした項目があります。
委員4	職員配置の部分は私も同様に低評価としました。
委員1	事業者Aは、高齢者雇用促進について経費面でのメリットが主であるという姿勢に感じられたため低評価になりました。
委員3	障がい者や高齢者、区民や区内事業者を積極的に活用するという点においては、積極性が感じられ、評価できるとは思います。
委員1	労働環境に対する事業者の姿勢が知りたいので、ヒアリング時に確認します。
委員長	これらの講評を受けて、点数を変更したい委員の方はお知らせください。 (変更なし)
委員長	第一次審査を通過させる事業者を決定したいと思います。ご意見をお願いします。
委員2	事業者Cについては、事業者A、事業者Bと大きく差がありますから、書類審査で不通過ということでもいいと思います。
委員4	提案書類の内容を基にプレゼンテーションを行うということを考慮した場合、事業者Cが勝る可能性は極めて低いと思いますので、同意見です。
全委員	(異議なし)
委員長	それでは、委員の総意として、第一次審査通過者は事業者A、事業者Bとします。
	議題2 第二次審査について
	・事務局から第二次審査の方法について説明
委員長	それでは、第二次審査について審議します。プレゼンテーションの方法、プレゼンテーション時の条件、追加要望資料の有無について、ご意見をお願いします。
委員1	出席人数は事業者の自由で、プレゼンテーションは施設長候補者が行い、詳細な内容について訊きたいときに、各事業担当者にお答えいただく、ということもできればと思います。あと、初年度から全ての事業を行うのか、5年かけて実行していくのか、など提案書類だけでは見えてこないのが、実現性などを評価できるよう、両者に伺いたいです。
委員2	交流の間を起点にして憩いの間や展示室など他の空間をどのように有機的につなげていくのか。地域交流、伝統文化の振興、観光振興をどのようにつなげていくのか、が事業展開の重要なポイントだと思います。これらについてどう考え、どのように実行していくのか、について訊きたい旨をあらかじめ事業者にも伝えても良いと思います。
委員3	方法はプロジェクターを用いてプレゼンテーションしていただくのが良いと思います。
委員1	ヒアリングは時間がかかると思いますので、20分はあった方が良いでしょう。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション方法については、プロジェクター・スクリーンを用いる。 ・プレゼンテーションは施設長予定者が行い、その他参加者は事業者の自由とする。 ・各居室の有機的連携、地域振興・文化振興・観光振興の実現、審査項目でもある各種団体との連携、危機管理対策について、具体的な実行計画をプレゼンテーションするよう事業者へ事前通告する。

全委員	<p>ということで決定しますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(了承)</p> <p>4 今後のスケジュール等について</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局から今後のスケジュールについて説明 <p>5 閉会</p>
-----	--

会議名	第3回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会
開催日時	令和元年7月2日(火曜日)午前9時30分から11時30分まで
開催場所	芝浦区民協働スペース 多目的室3
委員	(出席者)上杉委員長、坂倉委員、若林委員、星川委員、大久保委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課 遠井、鶴田、高野
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)について 議題2 指定管理者候補者の決定について 3 閉会
配付資料	[席上配付] 資料1 第3回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会タイムスケジュール 資料2 第二次審査表 資料3 第一次審査評価用メモ 資料4 第一次審査集計表 資料5 第2回港区立伝統文化交流館指定管理者候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
委員1	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査 ・事業者Aによるプレゼンテーション ・ヒアリング 交流の間で実施する事業について、特徴的なこと、自分たちがやるからこそできるということがあれば教えてください。
事業者A	私たちは既に区内の様々な団体と共に活動してきている実績があることから、それを活かして、毎月1回以上、区内事業者や区内活動を活用した伝統文化に関する事業を行います。また、構成団体は、子ども分野を得意としています。伝統文化を次世代までつないでいけるよう、親子向けの事業や、世代間など様々な交流を促進する事業を展開していきたいと考えています。
委員1	喫茶事業の人件費の積算方法についてと、高齢者雇用を「効率的」という文言で表現していますが、どういった意味なのかを教えてください。

事業者A	喫茶事業の人件費については、関心表明をいただいた福祉法人から見積書をいただいております。その額を記載しています。高齢者雇用については、シルバー人材センターを活用することを考えていまして、効率的というのは、人員体制・配置の面を意味しています。開館時間が長いので、高齢者やシルバー人材センターからの人材も含めてうまくローテーションを組んで、無駄のない、無理のない運営を行っていきます。
委員2	この施設は、国内で唯一の非常にユニークな館として新たな人たちに利用を広げ、また、これまでにないコミュニティの拠点となることもできると思いますが、この施設が地域にどのようなものを提供していくと良いと考えますか。
事業者A	これから100年後、200年後もこの施設が、区民にとって非常に貴重なものであると受け継がれていくようにすることが大事だと考えています。まずは区の文化財である伝統文化交流館を区民に知ってもらい、地域に根ざした施設とし、そこからまた新たな発展を目指していき、より親しまれる施設になればと思います。地域の方や団体と一緒に芝浦港南地域を盛り上げ、それを港区全体に広げていく。伝統文化を港区全体に広げる拠点施設になると思っています。
委員2	広報について具体的な計画があれば教えてください。
事業者A	専用ホームページの立ち上げとともに、町会や区内施設を通して、区民にPRしていきます。また、SNSを広く活用することも考えています。SNSの有料広告の使用も検討していて、例えば、歴史に関心がある方、小学生のお子さんがいる方といったようにターゲットを絞り込むことができるので、そこにダイレクトに情報をお届けしたいと考えています。
委員4	区内在住の外国人に対して、どのようにアプローチしていくか、その考え方を教えてください。
事業者A	私たちの団体では、既に在住の外国人の方といくつもの事業やイベントを実施したり、また参加していただいたりしています。先日も大使館と連携して事業を実施しました。このような繋がりを活かして、この施設でも連携事業を行ったり、立ち寄っていただくようにしたりということができると考えています。
委員4	区民に何度も利用していただけるような工夫をお考えであればお聞かせください。
事業者A	伝統文化に興味を持った方に、まずは事業に参加していただけるようにし、そこで集まった人たちがゆくゆくはサークルや団体を組み、その活動の場として伝統文化交流館を利用していただくという流れが作れるよう支援をしていきたいと考えています。また、ボランティアの育成も考えていまして、練習やイベントに参加した地域の方が、今度は教える側となり、またこの施設で活動していくといったことも考えています。
委員3	地域の方にはどのように運営に関わってもらうことを想定していますか。
事業者A	地域懇談会を年1回は必ず行います。施設の登録団体による意見交換だけでなく、地元町会や近隣住民の様々な世代の方にもご参加いただいて、施設をどのようにしていきたいかを伺い、共に取り組んでいきたいと考えています。また、町会のまつりやイベント等にこの施設を利用していただいたり、協働してイベントを行ったり、ということもしていきたいです。
委員長	時間になりましたので、質疑を終了します。事業者の皆さま、ありがとうございました。 (事業者 A 退出・採点)

	<p>(事業者B入室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者 B によるプレゼンテーション ・ヒアリング
委員3 事業者B	<p>地域の方にはどのように運営に関わってもらうことを想定していますか。</p> <p>ボランティアの育成を考えています。教室事業に、地域の方に講師や講師補助として参画していただいたり、高齢者から子どもに昔遊びを教えていただいたり、ということをしていきたいと考えています。また、自分たちも地域の行事に積極的に参加して、顔の見える関係を構築していきたいと考えています。</p>
委員4 事業者B	<p>本施設と同じような施設で、地域を巻き込んで運営を行っているような実績があれば教えてください。</p> <p>公園管理をしている施設では地域の学校や近隣の福祉施設と一緒に花を育てていたり、また、地域の施設に講師を派遣して講座を行ったり、そこで描いた絵を施設に展示して、親御さんに見に来てもらったりということをしています。また、自治会や商工会に参加して、地域課題と一緒に取り組み、解決していくという事例も多々あります。</p>
委員4 事業者B	<p>区内在住の外国人に対して、どのようにアプローチしていくか、その考え方を教えてください。</p> <p>実際に外国人が多い地域で管理運営している施設では、地道な声かけや、多言語に対応した媒体制作、大使館と連携して企画をするなどして、海外の方に対して開かれた運営をしている施設であるということを知っていただくことから始め、利用につなげています。この施設でもそういった活動から始めていきたいと考えています。</p>
委員2 事業者B	<p>ボランティア育成についてですが、具体的にこの施設ではどのように進めていくと良いとお考えですか。</p> <p>事業担当責任者を配置し、ボランティア育成講座を実施します。講師補助や、館内の案内などで活動することを想定しています。</p>
委員2 事業者B	<p>地域との連携については、関係性の構築や、住民の方の力を引き出していくという、専門的な能力が必要だと思いますがどのように考えていらっしゃいますか。</p> <p>構成団体では、長年接客業の仕事を続けています。お客様とのお話から要望を聞き取って、それをどのようにかたちにしていくことができるか、ということを社員一人ひとりが考えてきています。実際に、施設の利用者から、私はこんなことができるのよ、と会話の中で引きだして、そうしたら今度ここで講師をやってみませんか、と進めて、地域講師の方が90%を占めるような施設もあります。同様に、この施設においても、私たちが発掘して促していくことをしようと考えています。</p>
委員2 事業者B	<p>広報について具体的な計画があれば教えてください。</p> <p>まずは広く届ける、ということを行います。そのために、SNSや紙媒体など様々な方法を使つての広報を考えています。加えて、子どもが地域に出ていき、口コミでしっかりと伝えていくというのがこの施設に関しては重要だと思っています。地域のまつりや活動に積極的に参加し、広めていきたいと考えています。</p>
委員1	<p>利用者に近隣の活動団体を紹介するというご提案について、港区には相当な数の活動団体がありますが、現在それをどのくらい把握されていて、何が特徴的でどういうところ</p>

事業者B	<p>を紹介できているかを教えてください。</p> <p>現時点で十分に把握できているとは言えないので、これから地域にお伺いしながら関係性をつくっていかれたらと考えています。関心表明をいただいている団体は伝統文化に関する各団体にも詳しいので、協力を得ながら多くの地域活動団体を紹介していきたいと考えています。</p>
委員1	<p>福祉喫茶の展開について、働いてもらうだけではなく、障がいのある方にも来ていただける場所とするために、何かお考えはございますか。</p>
事業者B	<p>喫茶だけではなく施設全体で様々な方がいらっしやと思います。障がい者だけでなく、高齢者や外国の方など、そういった方々に利用しやすい施設をつくるということはイコール全ての利用者が利用しやすいということになると思います。ですので、スタッフには、どなたが来ても同じようにサービスが提供できるように教育を進めてまいります。</p>
委員1	<p>施設長候補者に伺います。この施設が地域の方にとってどういう存在であると考えているのか、その施設を新しくどのように展開していきたいか、ということをお願いいたします。</p>
事業者B	<p>以前、見番であったそのにおいや形は地域の方にしみついていると思います。伝統文化交流館として生まれ変わる、ということをお願いいたします。伝統文化の発信拠点、交流の場の中心地点として目指していくというのが良いと考えています。</p>
委員5	<p>開設イベントについて、特色はどのように出そうと考えていますか。</p>
事業者B	<p>イベントの準備段階から地域の方に参加していただきながら盛り上げていきたいと考えています。地域の方に、内覧会等を開き、地域の方を巻き込んで、ただ演目を開くだけではなく、様々な催しをして施設全体を使って伝統文化に触れていただきたいと考えています。開設イベントだけでなく、全体を通してになります。私たちが思う伝統文化に捉われずに、地域の方にどういう施設であってほしいか、というのをまずは地域の方に伺い、独りよがりにならないよう施設を運営して意見を反映していきたいと考えています。</p>
委員長	<p>時間になりましたので、質疑を終了します。事業者の皆さま、ありがとうございました。 (事業者B退出・採点及び集計)</p>
委員長	<p>議題2 指定管理者候補者の決定について</p> <p>各委員の皆様から講評をお願いします。</p>
委員1	<p>事業者Aは、非常に意欲を感じました。また、地域との連携や、地域に対してこのようなことを提供していく、といった視点がとても強く、それが高評価となりました。事業者Bは、実績も豊富にありますし、施設管理も事業運営も上手にやることができると思いました。ただ、地域との関係性の構築が見えにくかったのと、地域に入っていくには運営する施設のことを雄弁に語ってくれる施設長が必要だと思っておりますが、施設長候補者からその意欲は感じられませんでしたので、その部分で事業者Aの方が高い点数となりました。</p>
委員2	<p>事業者Bは、地域との連携や施設長候補者の部分について、十分な内容であるとは言いきなく、そこで事業者Aと差がついてしまいました。どちらも良いところも足りないところもありますが、事業者Aは地元密着型という感じで、提案内容も施設長候補者も地域からの親しみやすさという面では事業者Aの方があり、提案内容について堅実に運営を行っていくことができると思いました。</p>
委員3	<p>事業内容と管理運営の部分ではどちらも優れた内容でしたが、地域連携と施設長候補</p>

委員4	<p>者の部分で差が開きました。地域連携では、事業者Aは区内活動団体のことも知っているし、地域に根ざしているという部分で高評価となりました。施設長候補者については、事業者Aの候補者は、質疑に対していろいろと自分の言葉で真摯に答えていて、誠実さを感じましたし、施設長としての安心感がありました。一方で、事業者Bの施設長候補者は委員から指名した以外での発言がなかったのが残念で、どれくらい意欲があるのかというのが、わかりにくくもっと前に出てきてくださればよかったなと思います。</p>
委員5	<p>事業者Aは地域住民との協働や、区内の伝統文化活動団体、各施設との連携に対しても、具体的で実現性が高く、また、強い意欲を感じました。地域の方々を大事にしようという思いも感じられました。事業者Bも全体的に良い内容ではありましたが、やはり地域との関わりと施設長の資質の部分で、事業者Aの方が親しみやすさや温かみがあり、評価が高くなりました。</p>
委員長	<p>伝統文化をより良い形で継承し、地域に広めていけるかという観点で考えると、事業者Bの方が高評価となりました。特に事業運営の部分で、将来性を感じたからです。事業者Aも今回の提案では具体的で幅広い事業提案がなされていましたし、事業者Aが運営を行うこととなっても問題はないと考えます。伝統文化を深く知れるような事業を実施していき、日本全体に知っていただけるような施設にしていってほしいと思います。</p>
全委員	<p>それでは、点数を確認します。第二次審査は合計500点満点中、事業者 A が390点、事業者 B が352点となりました。第一次審査の得点が事業者 A 765点、事業者 B 793点でしたので、合計しますと、事業者 A は1, 155点、事業者 B が1, 145点という結果です。点数の変更はないようですので、点数を確定し、事業者 A を、伝統文化交流館指定管理者候補者として決定します。よろしいでしょうか。</p>
委員長 事務局	<p>(了承) 事務局から応募事業者名の発表をお願いします。 応募事業者は「伝統文化交流館運営共同事業体」で、代表団体「公益財団法人 港区スポーツふれあい文化健康財団」、構成団体「株式会社小学館集英社プロダクション」「大星ビル管理株式会社」です。</p>
委員長	<p>ただいま発表いただいた事業者を、当委員会では指定管理者候補者として決定いたします。</p> <p>3 閉会</p>